

図書館だより

第168号

平成18年1月

小さな町の小さな図書館を夢みて

仁摩おはなし会ころりん

代表 竹下 ちとせ

生涯学習センター・仁摩図書館。木の温もりに包まれた、美しいデザインの建物が、平成16年9月26日にオープンしてから1年4ヶ月になる。今、図書館が身近にある幸せをしひしと感じながら、建設に至るまでの長い道のりに思いを馳せてみた。

昭和62年頃から、自治会単位での子ども読書会の推進が始まった。当時の人たちが、今もなお「仁摩おはなし会ころりん」のメンバーとして活動している。また、今回の図書館建設の大きな力となった。当時の図書館は、公民館の一室の暗い部屋で、職員が掛け持ちで担当する状況だった。平成11年、行政の行う町民対話のつどいで、あるお母さんが「町の図書館は、場所が狭く暗いので、明るく広く、楽しく過ごせる図書館を建設してほしい」と勇気ある発言をされた。図書館への思いは、私たちボランティアだけではないと実感した時だった。

そんな中、衝撃を受けたのは、県立図書館主催の研修会で、「滋賀県方式」なる言葉を聞いた時だった。図書館の3要素は、「人、新鮮な資料、そして魅力ある建物」であるが、まず、

その「人」に注目したやり方だ。図書館づくりに専門的な見識と情熱を持つ人材を公募し、建設段階から交えて図書館づくりを進めていくやり方だった。

平成12年11月、町長は公約に図書館建設を掲げ、建設検討委員会が設置された。視察を含め10回の委員会を経て答申を出したが、この間、滋賀県の永源寺図書館を知った事は、非常に参考になると共に、大きな励みになった。また、建設に向けて前を行く斐川町立図書館の存在も大きかった。

その後の町の姿勢は、答申の内容をほぼ受け入れる形で、「専門性のある人材」の公募、建設段階からの住民参加、そして更にプロポーザル方式（設計者選定方式）により、住民の意見を最大限に導入してくれる設計業者の選定へと繋がっていった。設計段階で、住民の意見希望を取り入れて、何度も修正が加えられるなど、活気に満ちたわくわくする作業を体験できた。こうして私たちも参画した図書館が出来た。これからも、ボランティアの一人、住民の一人として、発展を見続けたいと思う。

県立図書館臨時休館のお知らせ

アスベスト対策工事（天井に吹き付け材として使用されているアスベストを除去する工事）のため下記のとおり臨時休館いたします。皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

○休館期間

平成18年3月1日(木)～7月下旬（確定日は7月上旬に公示します。）
2月27日(月)、28日（月末休館日）も休館です。

○期間中停止する業務

工事期間中、館内への立入ができませんので、次の業務は停止します。

①館内資料の貸出に関する業務

- ・直接来館による貸出及び閲覧
- ・相互貸借
- ・レファレンス（電話、FAXによる問い合わせも含む）
- ・インターネット検索システムによる貸出

②複写サービス

③新聞閲覧

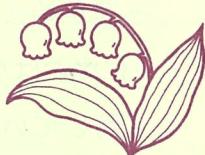
④子ども室開催の各種行事（親子で絵本を読む会・子どもお楽しみ会）

⑤学習室利用

⑥児童、生徒による館内見学

⑦館外用図書の貸出・返却（特別貸出・団体貸出）

○期間中行っている業務



①市町村協力巡回事業

②市町村職員研修会

③幼児・児童読書普及事業

④学校用調べ学習資料・読書会用資料の貸出

⑤次の各種講座（会場を変更して行います。）

「出雲國風土記を読む会」「古文書を読む会・近世初級講座」

「古文書を読む会・中世講座」「しまね文学散歩」「お話の会」

○図書の貸出・返却について（0852-22-5748 中央カウンター）

休館直前（2月12日～26日）の貸出は、冊数20冊以内、期間約5ヶ月半に変更します。

返却は7月31日(月)までにお願いします。

休館中における図書の返却は、返却用ポストをご利用ください。

○団体貸出（学校、読書会等）について（0852-22-5729 館外奉仕担当）

休館直前（1月5日～2月28日）の貸出は、期間約7ヶ月に変更します。

返却は8月1日(火)から8月31日(木)までにお願いします。

貸出冊数は100冊以内で変更ありません。

○4月以降の図書館連絡先

〒690-0886 松江市母衣町55 島根県教育会館4階

Tel 0852-22-5725 Fax 0852-22-5728



図書館資料の補強・修理

島根県立図書館では、ほとんどの資料を永久保存しています。そのため、資料が傷まないよう補強したり、破損した資料の修理を行っています。

貸出前の装備・補強

新着図書や新刊雑誌は、貸出する前に補強のための装備を行います。多くの図書館が行っているのは、図書のブックカバーがはずれたり破れたりしないよう、透明なビニールコートでカバーする作業です。また、袋とじの雑誌は表紙がはずれやすいため、補修テープなどであらかじめ補強してから棚に並べることもあります。また、郷土資料や古文書などの貴重資料は、酸化や劣化を防ぐため、中性紙の封筒や箱に入れて保護しています。

破損後の補修・修理

それでも、多くの方に利用されているうちに、資料が破損してしまうことがあります。県立図書館では、専用のボンドや補修テープなどを使って破損した資料を修理しています。ページがバラバラにはずれてしまった資料は、糸で全体をぬって綴じたりします。

もし図書館資料を破損したら

- うっかり資料が破れたりページがはずれたりした場合は、
- ×事務用のりやステイックのりで貼らないで！→資料を傷めることができます。
- ×セロテープで貼らないで！→数年後、茶色くなってしまうがれてきます。
- ×自分でなおさないで！→資料を返却される際にお申し出ください。修理できる資料は図書館で修理します。

災害・事故等でやむをえず水にぬれたり破損したりすることもありますが、図書館資料は公共物ですので、借りられた資料の取り扱いにはご注意ください。

受賞おめでとうございます

島根県読書推進運動協議会 平成17年度読書推進運動功労者表彰

(個人)

・小原扶二子様（東出雲町）

平成7年から町読書普及指導員として活動。下意東地区子ども読書会で中心的役割を果たし、地域の子どもたちに「お話しおばさん」として親しまれている。平成12年からは、「地元読み語りボランティア」としても活動。

(団体)

・絵本の会「プニュ」（浜田市）

平成11年発足。現在会員数8名。読み聞かせボランティアとして浜田図書館をはじめ子育て支援センター、公民館母親クラブなど市内各所で活動。小学校の読み聞かせグループ発足に向けて支援するなど育成の取り組みも行っている。

・久木ちびっこお話し隊（斐川町）

平成12年発足。現在会員数10名。小さい子向けのおはなし会。久木地区のほか、図書館まつりや地域の文化祭でもエプロンシアター、パネルシアター、ストーリーテリング等を実施。

・そらいろのたね（邑南町）

平成7年発足。現在会員数10名。結成以来、東小学校での朝の読み語り、公民館でのおはなし会を実施。最近では、月1回小学校の授業でのブックトークや、図書環境整備も行っている。

行事予定

2月



5 日	6 月 休館日	7 火	1 水 親子で絵本を読み会 15:00～15:30	2 木	3 金	4 土 古文書を読み会(近世初頭) 10:00～12:00 お話の会 13:30～14:30
12	13 休館日	14 成人読書会 13:00～15:00	15 親子で絵本を読み会 15:00～15:30	16	17	18 古文書を読み会(中世) 13:30～15:00
19 しまね文学散歩 10:00～12:00	20 休館日	21	22 親子で絵本を読み会 15:00～15:30	23	24	25 子どもおたのしみ会 10:00～11:00
26	27 休館日	28 曜末休館日	 館内展示：喫茶を楽しむ			

3月



1 水 臨時休館 3月1日から7月下旬まで	2 木	3 金	4 土
5 日	6 月	7 火	8
12	13	14	15
19 しまね文学散歩 10:00～12:00 (会場：県立図書館)	20	21 春分の日	22
26	27	28	29
30		31	

利用案内

● 休館日

- 毎週月曜日・国民の祝日
- 毎月末日（月末が日曜日にあたるときはその前日）
- 年末年始 12月28日～1月4日
- 図書整理休館（年2回、それぞれ10日間）

● 開館時間（子ども室の開室時間も同じ）

火曜日～金曜日 4月～9月 9時～19時
10月～3月 9時～18時
土曜日・日曜日 通 年 9時～17時

● 貸出

冊数…5冊以内
期間…15日

※高齢者、身障者の方は郵送による貸出、返却制度を利用できます。

郷土資料収集のお願い

島根に関する資料(古いものも、新しいものも)を収集・保存しています。
ご寄贈、情報の提供をお願いします。

※図書館だよりはホームページでもご覧いただけます。

編集発行 島根県立図書館 ☎690-0873 松江市内中原町52 TEL 0852-22-5725
(県庁前バス停下車 県庁西側へ徒歩3分) FAX 0852-22-5728
発行日 平成18年1月20日
ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.jp/section/kento>